

日本語運用能力に関する総合問題 問題紙

2025年10月26日(日)

10:00～11:00(60分)

注意事項

1. 問題紙は全8ページである。
2. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
3. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
4. 受験番号・氏名は、試験開始後、解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 試験終了まで退室してはいけない。

□ 次の文章は、一九八八年から翌年にかけて『京都新聞』に五回にわたって連載された「文化という額縁」のうち、第一回にあたる「日本文化と自分文化」の全文である。これを読み、後の設問に答えなさい。なお、出題の都合上、それぞれの段落には符号を冠している。

著作権の都合上、省略

著作権の都合上、省略

出典：岩田慶治「文化という額縁」、同『木が人になり、人が木になる。——アニメイズムと今日』（人文書館、二〇〇五年）所収。ただし一部を更にした。

問一（一） この文章は、二つの視点から日本文化論批判を行ったもので、第一の視点による批判、第二の視点による批判、および結論部の三部構成と解釈できる。このうち、（a）第一の視点による批判と、（b）第二の視点による批判は、それぞれの段落までか。最も適切なものを、A～Nのうちからそれぞれ一つ選び、符号で答えなさい。

（二） 第二の視点による日本文化論批判の核心部分を五十五字以内で抜き出し、句読点を含めてはじめての五字とおわりの五字を、それぞれ答えなさい。

問二（一） 傍線部1を別の語に置きかえらしたら、次のア～カの語のうちいずれが最も適切か、一つ選び符号で答えなさい。

- ア 共通性 イ 多様性 ウ 画一性 エ 重層性 オ 一般性 カ 雑種性

(二) 傍線部1に関連して、著者は同じ連載の第四回「大嘗祭の原型——魂とは何だろうか」のなかで、東南アジア南部に居住するクメール

族の伝統的な年中行事を考察した上で、日本の大嘗祭はこの行事に由来するものであらうと述べ、「大嘗祭の本質を明らかにするには、日本における文献、記録とその変遷をただるだけでは不十分で、その儀礼が誕生したその場所に出かけて、そこで探究しなければならぬ」と指摘している。そうだとすると、著者がこの両者を比較検証するにあたって最も重視するのは、次のア、カのうちいずれと考えられるか、最も適切なものを一つ選び、符号で答えなさい。なお、大嘗祭とは、天皇が即位後初めて行う新嘗祭で、その年の新穀を天皇が天照大神と天神地祇に供え、自らも食するという、皇位継承にともなう重要な儀式(大祭)である。

ア 両者の性質で異なる点

イ それぞれにおける変化の要因

ウ 両者にみられる正の相関関係

エ 両者に共通する性質

オ それぞれが土着する過程

カ 両者の性質が異なる原因

問三

(一) 傍線部2と傍線部3は、文化の何について述べているか。最も適切なものを、次のア、カのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 文化の個別事例

イ 文化の創造性

ウ 文化の越境的性格とその内的矛盾

エ 文化の基本的な性質

オ 文化の固有性と特異性

カ 文化の自然回帰

(二) 傍線部3の状態を最も適切に表現する語を、次のア、カのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 共通性

イ 多様性

ウ 画一性

エ 重層性

オ 一般性

カ 雑種性

問四 空欄①②③には、「だから」もしくは「しかし」のいずれかが入る。その最も適切な組み合わせを、次のア～カのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

- ア ①しかし ②しかし ③だから
イ ①しかし ②だから ③しかし
ウ ①しかし ②だから ③だから
エ ①だから ②だから ③しかし
オ ①だから ②しかし ③だから
カ ①だから ②しかし ③しかし

問五 全体の議論をふまえ、空欄aに入る最も適切な語を、次のア～カのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

- ア 国民 イ 民衆 ウ 部族 エ 大衆 オ 人民 カ 庶民

問六 結語にあたる空欄bに入る最も適切な文章を、次のア～カのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

- ア 自分文化の追究をおして、人類の文化創造に寄与することなのである。
イ 日本文化を支えることではなくて、自分文化を開花させることなのである。
ウ 強いていえば、日本文化には情熱ではなく、愛情を注ぐことなのである。
エ 自分文化の創造をおして、日本文化の発展に貢献することなのである。
オ 個々人が自分文化をしっかりと持って日本人として生きることなのである。
カ 自分文化に日本ではなく人類という額縁をはめることなのである。

問七 「自分文化」という筆者独自の文化観について、本文にある「文化という歴史的な堆積物」という語を使用して七十字以内で批判しなさい。

□ 次の文章は、父である太政大臣や兄たちと賀茂社に参詣する途中、美しい女性（俊蔭女）を見かけた若小君が、帰途で一行からわざと離れて一人になり、その女性の住む荒れた家を訪れた後の場面である。これを読み、後の設問に答えなさい。

著作権の都合上、省略

出典：『うつほ物語』俊蔭卷（中野幸一校注・訳『新編日本古典文学全集14 うつほ物語①』小学館、一九九九年）。ただし一部変更した。

問一 波線部①「あからさまの」、②「おろかなる」の意味として最も適切なものを、次の各群のア～オのうちからそれぞれ一つ選び、符号で答えなさい。



問二 波線部 a 「かなしう思さるる」、b 「据ゑたまはず」の主語として最も適切なものを、次のア～オのうちからそれぞれ一つ選び、符号で答えなさい。

ア 親 イ 兄 ウ 若小君 エ 俊蔭女 オ 検非違使

問三 波線部 X 「あが仏」、Y 「見る人」、Z 「あはれなる人」とは誰を指すか。最も適切なものを、次のア～オのうちからそれぞれ一つ選び、符号で答えなさい。

ア 親 イ 兄 ウ 若小君 エ 俊蔭女 オ 検非違使

問四 傍線部 1 「さてもあるまじう、思しさわぐらむといみじければ」の解釈として最も適切なものを、次のア～オのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 私は本来ならここにはいないはずであり、あなたが突然のことで驚いていらつしやるだろうと思うと、気の毒に思うけれども
 イ 私は本来ならここにはいないはずであり、両親が私のことを心配して騒いでいらつしやるだろうと思うが、あなたの方が大切なので
 ウ 私は本来ならここにはいないはずであり、あなたが、私の素性がわからず不安でいらつしやるだろうと思うと、とても気の毒なので
 エ いつまでもこうしているわけにもいかず、両親が私のことを心配して騒いでいらつしやるだろうと思うと、とても気にかかるので
 オ いつまでもこうしているわけにはいかず、私はあなたが他の男のものになるのではないかと心配で、心が騒いでしかたないので

問五 傍線部2「今日ばかりは、なほかうてもと思へど」とあるが、その説明として最も適切なものを、次のア～オのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 今日ぐらいはあなたは私に冷たくしなれど、早くもつと打ち解けてほしいと懇願する、若小君から俊蔭女への発言である。
イ 今日だけはこのままあなたと一緒にいたいと思うけれども、それが叶わないという事情を説明する、若小君から俊蔭女への発言である。
ウ 今日だけは私の父も見逃してくれるに違いないが、あなたを引き取るためには両親に事情を説明しなければならぬという、若小君から俊蔭女への発言である。

エ しばらくは会えないだろうから、今日だけは自分の家に帰らずここにいてほしいと引き留めようとする、俊蔭女から若小君への発言である。

オ あなたと一緒にいる今日ぐらいは悩むまいと思えけれども、あなたの愛情が信じられないと嘆く、俊蔭女から若小君への発言である。

問六 傍線部3「そもかうここに参り来べかりければこそと、今なむ思ひ知らるる」とあるが、どういうことか。その解釈として最も適切なものを、次のア～オのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 父にお供して賀茂社に向かう途中であなたに出会ったのも、賀茂の神のお導きだと思ふと、今はそのありがたさに感じ入るばかりです。
イ そもそも父にお供していなければ、ここに来てあなたに出会うこともなかったため、父に感謝申し上げねばならないということがわかりました。

ウ 昨日出かけることに気乗りがしなかったのも、ここに来てあなたに出会った今となつては、まるで遠い昔のことのように思われます。

エ 昨日ここに初めてうかがったばかりですが、私があなたに出会ったのも、そういう運命だったからだ、今になってしみじみとわかりました。

オ 本来なら父にお供するはずではなかったのにお供したのも、ここに来てあなたにお逢いすることになる運命だったからだ、今になってわかりました。

問七 和歌A「葉末こそ秋をも知らぬ根を深みそれみち芝のいつか忘れむ」の解釈として最も適切なものを、次のア～オのうちから一つ選び、符号で答えなさい。

ア 浅茅の葉先が秋を知って枯れるように、あなたのことがいやになることがあるでしょうか、いやありません。そして道ばたに生えている芝は根が深く枯れないように、あなたの私への愛情も深いと信じているので、それを頼みにして、私はここへ来る道を忘れることはありません。

イ 浅茅の葉先が秋を知って枯れるように、あなたへの愛情が枯れ果ててしまうことはありません。あなたを訪れることこそ難しいものの、浅茅の根が深く張って枯れないように、私の心は毎晩あなたを訪れるので、道ばたに生える芝がそれをあなたに告げるでしょう。

ウ 浅茅の葉先が秋風で秋を知るように、あなたは私への愛情がなくなることもあるかもしれませんが、浅茅の根が深いように、共寝をした私とあなたの結びつきは深いので、道ばたに生える芝はここへ来る道を忘れることはなく、私を導いてくれます。

エ 浅茅の葉先が秋風で秋を知るように、あなたのことがいやになることがあるでしょうか、いやありません。道ばたに生えている芝は根が深いように、あなたの私への愛情は深いので、私がここへ来る道しるべとなって私を忘れずに歓迎してください。

オ 浅茅の葉先が秋風で秋を知るように、あなたは私のことがいやになることがあるでしょうが、道ばたに生えている芝は根が深いように、私のあなたへの愛情は深いので、ここへ来る道をいつ忘れるでしょうか。忘れることはありません。

問八

傍線部4「かへすがへす契りおきて出でたまふ」とあるが、どういうことか。動作の主体と受け手を明らかにしたうえで、句読点を含めて四十文字以内で解釈しなさい。

解答例

1

問一 (一) (a) E (b) J (二) 創造者たちくではない。

問二 (一) オ (二) エ

問三 (一) エ (二) イ

問四 エ

問五 ア

問六 イ

問七

(解答例1) いかなる「自分文化」も無からは生まれえず、「文化という歴史的な堆積物」の上に創造されるという意味で、完全な「自分文化」など存在しない。(67字)

(解答例2) たとえば和歌や俳句は、言葉や形式といった「文化という歴史的な堆積物」の上にはじめて成り立つのだから、「自分文化」とまでいえるか疑問が残る。(69字)

(解答例3) 親鸞も道元も、日本の仏教、すなわち「文化という歴史的堆積物」を土台として新たな仏教を追究したのだから、「自分文化」とまではいえない。(66字)

2

問一 ①オ ②イ

aウ bア

問二 Xエ Yウ Zエ

問三 エ

問四 イ

問五 オ

問六 オ

問七 若小君は俊蔭女に、また逢いに來ることを何度も約束して俊蔭女の家を去り出立になった。

学部	人文学部（日本文化学科）
教科・科目名	日本語運用能力に関する総合問題（総合型選抜）
出題の基本方針	<p>現代文と古文を組み合わせ、主に選択問題でアドミッションポリシー2の掲げる「日本語と日本文化を専門的に学ぶ」ための「基礎学力」、論述問題で3の掲げる「論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる」力を測りました。このうち、現代文では文化人類学者・岩田慶治が日本文化論を批判的に検証した論考を課題文とし、テキストの正確かつ批判的な読解力を有しているかを問いました。古文では『うつほ物語』を取り上げ、古文を論理的に読み解くための基礎学力を有しているかを問いました。</p>
出題の意図 1	<p>現代文の選択問題では、テキスト全体の構造・論点を正確に把握し、そこで用いられている語や概念の意味内容、文章の論理的把握に必要な不可欠な接続詞の適切な使い方などを理解しているかを問いました。選択問題ではありますが、いずれも、著者の主張について深く思考をえめぐらし、それを十分に理解しているかが問われる問題でした。</p> <p>現代文の論述問題では、著者独自の文化観である「自分文化」について、「歴史的な堆積物」としての日本文化との関係からその自己完結性を論理的に批判する解答を求めました。またそのことをとおし、「日本文化」の独自性の主張にも疑問の目を向け、より広い視野から日本文化を考察する必要性に気がつくことを期待しました。</p>
出題の意図 2	<p>古文の選択問題では、テキストの内容を文脈に沿って正確に読解できるかを問いました。そのためには、主語が示されない場合でも前後の行動から主語を把握し、どこで主語が変わるのか、誰が何をしたのかを、丁寧に読み解くことが求められました。そのうえで、男女関係における登場人物それぞれの行動論理を理解する必要がありました。</p> <p>古文の記述問題では、テキスト全体の流れを理解しているか、それを踏まえて誰が誰に対して何をしたかを、具体的かつ簡潔にまとめて解釈できるかを問いました。</p>
総評	<p>全体として、語義や文章の内容を理解できていない解答が少なからず見受けられました。とくに論述問題では、内容以前の問題として、文章のねじれなど基礎的な日本語運用能力を欠いた解答が散見しました。その理由には、読書や辞書の引く習慣が備わっていないことなどが挙げられるでしょう。論理的な思考力も読み／書きによって培われることを知ってください。</p>

学部	人文学部（英米文化学科）
教科・科目名	英語運用能力に関する総合問題（総合型選抜）
出題の基本方針 出題の意図	株式会社教育測定研究所が提供しているCASEC（Computerized Assessment System for English Communication）を利用した英語の2技能試験（リーディング・リスニング）を実施します。志願者は、本学のコンピューターを用いて解答を行います。キーボードを使用したタイピングを含みますが、オンライン試験やコンピューター使用に関する特別な知識、技能は必要ありません。出題は、語彙の知識、表現の知識、リスニングによる大意把握・具体情報の把握を問う形式で、総合的な英語習熟度を測定することを目的としています。
総評	CASECは、受験者の回答情報に応じて次に出題される問題の難易度が調整されるコンピュータ適応型テストです。4つの問題形式では、全体的に「表現の知識」に関する項目が困難な様子でした。「語彙」「表現」「リスニングによる大意・具体的情報の把握」の形式で力が発揮できるよう、日頃から継続して技能のバランスを重視した学習が重要となります。

令和7年度

北海学園大学工学部

社会環境工学科

総合型選抜 講義型試験

問題紙

注意事項

- 解答用紙には受験番号、氏名を忘れずに記入してください。
- 問題紙、解答用紙、講義資料すべてを回収します。
- 机の上に置けるものは受験票のほかに、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計、および講義時に配布した試料です。
- 携帯電話等の電子機器は、必ず電源を切ってください。
- 試験室に入室してから試験終了までの退室を認めません。試験中の発病等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

1

雨が降ると斜面の土が滑りやすくなる理由として最も関係が深い現象を次の中から1つ選びなさい。

- ①土の空気圧が増加する
- ②水圧が発生する
- ③土の体積が減少する
- ④内部摩擦角が増大する

2

斜面上の物体の静止・滑動条件に関する以下の問題に答えよ。

(1) 次の文章に適切な文字式を入れよ。

傾斜角が θ の斜面に質点を置いたとき、質点が滑り出すかを考える。質点の質量が m 、重力加速度を g とすると、質点を滑らそうとする力は重力の斜面平行成分のため (①) となる。垂直抗力 N は (②) で表される。静止摩擦係数を μ とすると、摩擦力 f は (③) で表される。質点が静止しているときは (④) が成り立ち、重力の斜面平行成分が摩擦力よりも大きくなる、すなわち (⑤) のときに質点は滑り出す。

(2) 傾斜角が $\theta = 20^\circ$ の斜面に質点を置いたとき、静止摩擦係数が $\mu = 0.50$ の場合、物体はすべるかどうかを判定せよ。ただし、 $\sin 20^\circ = 0.34$ 、 $\cos 20^\circ = 0.94$ とする。

3

雨が原因の斜面崩壊に関する次の文章に適切な語句を入れよ。

雨が降ると、土のすき間に (①) が入り、土粒子の間で (②) が発生して、粒子を押しつける力が (③)。その結果、土の (④) が小さくなり、さらに土の中に入った水の重さで全体の (⑤) が増えて、斜面は崩れやすくなる。

4

同じ種類の土で、同じ形状に造成された2つの斜面があります。片方の斜面の表面には芝生が植えられています。降雨時、どちらの斜面がより安定していると考えられますか。その理由を、講義をもとに考え説明しなさい。

得点
点

令和7年度 北海学園大学工学部社会環境工学科 総合型選抜 講義型試験

解答用紙

受験番号	氏名
------	----

1

選択肢番号 ②

1
点

2

(1)

① $mg\sin\theta$ ② $mg\cos\theta$ ③ μN

④ $mg\sin\theta \leq f$ ⑤ $mg\sin\theta > f$

(2)

斜面方向の重力成分は

$$mg\sin 20^\circ = mg \times 0.34$$

垂直抗力は

$$N = mg\cos 20^\circ = mg \times 0.94$$

摩擦力は

$$f = \mu N = 0.50 \times mg \times 0.94 = 0.47mg$$

したがって、

$$mg\sin 20^\circ = 0.34mg < 0.47mg = f$$

よって、物体はすべらない。

2
点

3

② 水 ② 水圧（間隙水圧） ③ 小さくなる

③ せん断強さ（摩擦力） ⑤ 重量

3
点

4

解答例

その理由は、まず芝生の根が土粒子をつなぎとめることで、表面付近の土が崩れにくくなるためである。さらに、芝生が地表を覆うことで、雨が直接地面に当たるときの雨滴衝撃が弱まり、表面の土が削られにくくなる。このように、芝生には根による補強効果と雨滴衝撃による浸食の抑制効果があるため、芝生のある斜面の方が安定していると考えられる。

4
点

学部	工学部（社会環境工学科）
教科・科目名	講義型試験
出題の基本方針	<p>本試験は、斜面崩壊という自然現象を題材として、力学的な見方で現象を理解し、説明する力を評価することを目的としています。講義では、地盤工学における斜面崩壊の考え方に加え、高校物理の「斜面上の質点の運動」や摩擦の概念も扱い、両者のつながりを示しました。出題にあたっては、斜面上の物体に働く力の関係を理解し、それをもとに降雨時の斜面不安定化の仕組みを考え、さらに実際の斜面条件に応用して説明できるよう段階的に構成しました。用語や公式を覚えているかだけでなく、講義内容を踏まえて現象の仕組みを理解し、根拠をもって自分の言葉で説明できるかを重視します。</p>
出題の意図 1	<p>この設問は、降雨と斜面崩壊の関係について、最も本質的な要因を理解しているかを確認することを目的としています。講義で扱った「雨が降ると土中に水圧が発生し、有効応力が下がって滑りやすくなる」という考え方のうち、特に中心となる現象を選ばせることで、表面的な印象ではなく、因果関係の核を捉えられているかを評価します。</p>
出題の意図 2	<p>この設問は、高校物理で学ぶ斜面上の質点の力学を正しく整理できるかを確認することを目的としています。地盤工学の話に入る前提として、重力の分解、垂直抗力、摩擦力、静止条件・滑動条件を文字式で表せるかを見る問題です。講義型試験において、聞いた内容を数式として再構成する力を評価します。</p>
出題の意図 3	<p>この設問は、高校物理の摩擦の話から、地盤中の水の影響へと考えを発展させられるかを確認することを目的としています。雨が降ると斜面が崩れやすくなる理由を、「水が入る → 水圧が発生する → 粒子を押し付ける力が減る → 強度が下がる → 重力も増える」という流れで整理できるかを確認します。講義で説明した内容を、文章として再構成する力を問う問題です。</p>
出題の意図 4	<p>この設問は、講義内容をもとに、現実の斜面条件に対して自分で考えて説明する力を評価することを目的としています。覚えたことをそのまま答えるのではなく、植生のある斜面の安定性を、根の補強効果、侵食防止、水分条件などの観点から考えさせることで、講義内容の転用・応用を促し、思考力と表現力を見る設問です。</p>

学部	工学部（社会環境工学科）
総評	<p>全体として、斜面上の力のつり合いや摩擦の考え方については概ね理解されており、数値計算による静止・滑動の判定も多くの受験生が正しく行うことができていました。第4問については、講義で扱った内容をもとに現実の状況へ当てはめて説明する必要があったため、やや難しく感じた受験生もあり、記述の深さや論理性に差が見られました。今回の結果から、基礎的な力学概念を自然現象の理解に結び付け、具体的な場面で考察する力を評価することができました。</p>

学部	工学部（建築学科）
教科・科目名	講義型試験
出題の基本方針	<p>建築学科は、総合型選抜を通じて、「人々が生きる社会全般に対する強い興味と課題に対応できる能力を持った学生」を積極的に受け入れたいと考えています。そこで、上記を評価するべく、問題作成にあたっては、以下の2点を方針としました。</p> <p>①建築や都市に関わる課題や解決策を問う問題とする。</p> <p>②学生によって問題意識が異なる可能性があるが、解答のしやすさに偏りが無いよう、あらかじめ決めた一つの課題（例：気候変動）について深く問うよりも、学生が課題と思っている内容に応じて解答できる問題とする。</p>
出題の意図 1	<p>2015年の国連サミットでSDGsが採択され、持続可能な建築・都市づくりがより一層求められています。一方、持続可能な建築や都市を実現するためには、建築や都市の中の環境における課題（例：暑さ・寒さ、シックハウス問題、騒音、地震時の安全）から建築や都市の外側の環境における課題（例：水資源保護、資源循環、オゾン層破壊、気候変動、生物多様性）まで、数多くの課題を同時に考え、形やルールとしてまとめあげる必要があります。さらに、課題によってはトレードオフの関係にあるものもあり、課題の大きさや顧客のニーズなどに応じて、柔軟に最適解を求めていく必要があります。</p> <p>そこで、「持続可能な社会をつくるためにどのような建築・都市がふさわしいのか」について、模擬講義やグループディスカッションも踏まえ、自分の考えをまとめる問題としました。これにより、「人々が生きる社会全般に対する強い興味と課題に対応できる能力」を主に以下の二つの視点から評価することを意図しました。</p> <p>①具体的にどのような課題/どれくらい多くの課題に関心があるか</p> <p>②それぞれの課題に対し、どのような解決策を考えているか</p> <p>なお、上記に加え、自分の考えを相手にわかりやすく伝える能力も評価するために、解答方法や字数制限などを設けず、自由に文章や図表を使用して解答することとしました。</p>
総評	<p>室内の温熱環境に関する課題から、気候変動や森林保護まで、建築や都市に関わる幅広い課題に興味を持ち、自分なりに解決策を考えている様子が見られました。一方、一つ一つの課題や解決策については理解が浅い点なども見られましたので、今後勉強を進め、理解を深めていくことを期待しています。</p>